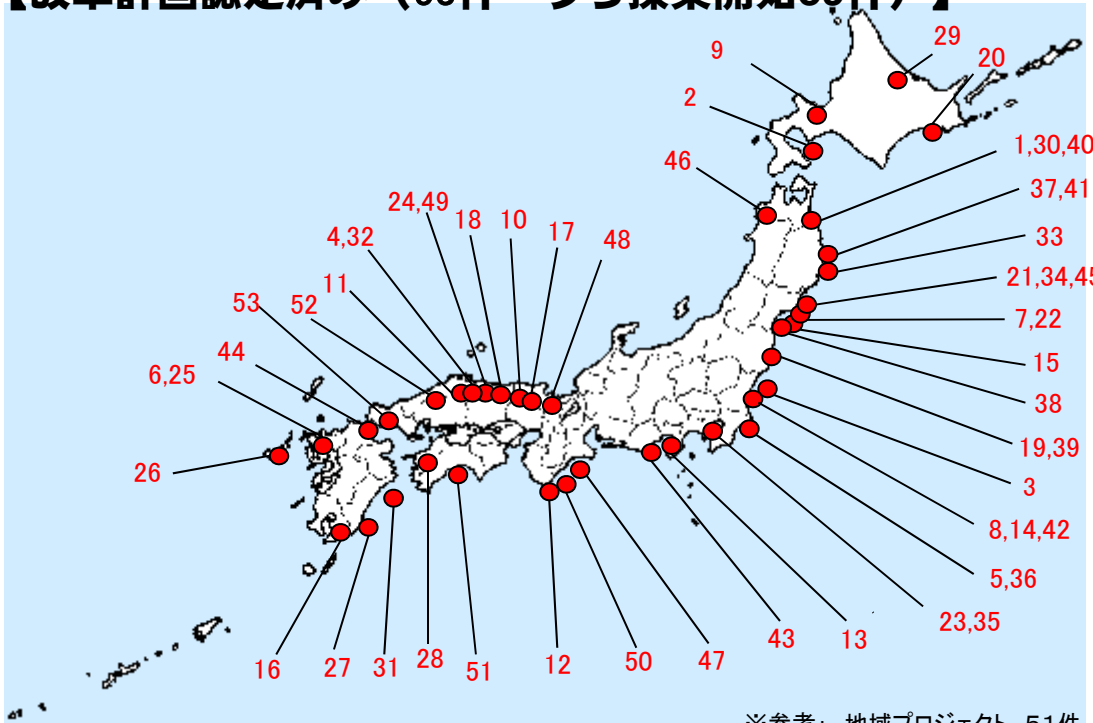


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 (H24年4月4日現在)

【改革計画認定済み(53件)のうち操業開始39件】



※参考: 地域プロジェクト 51件

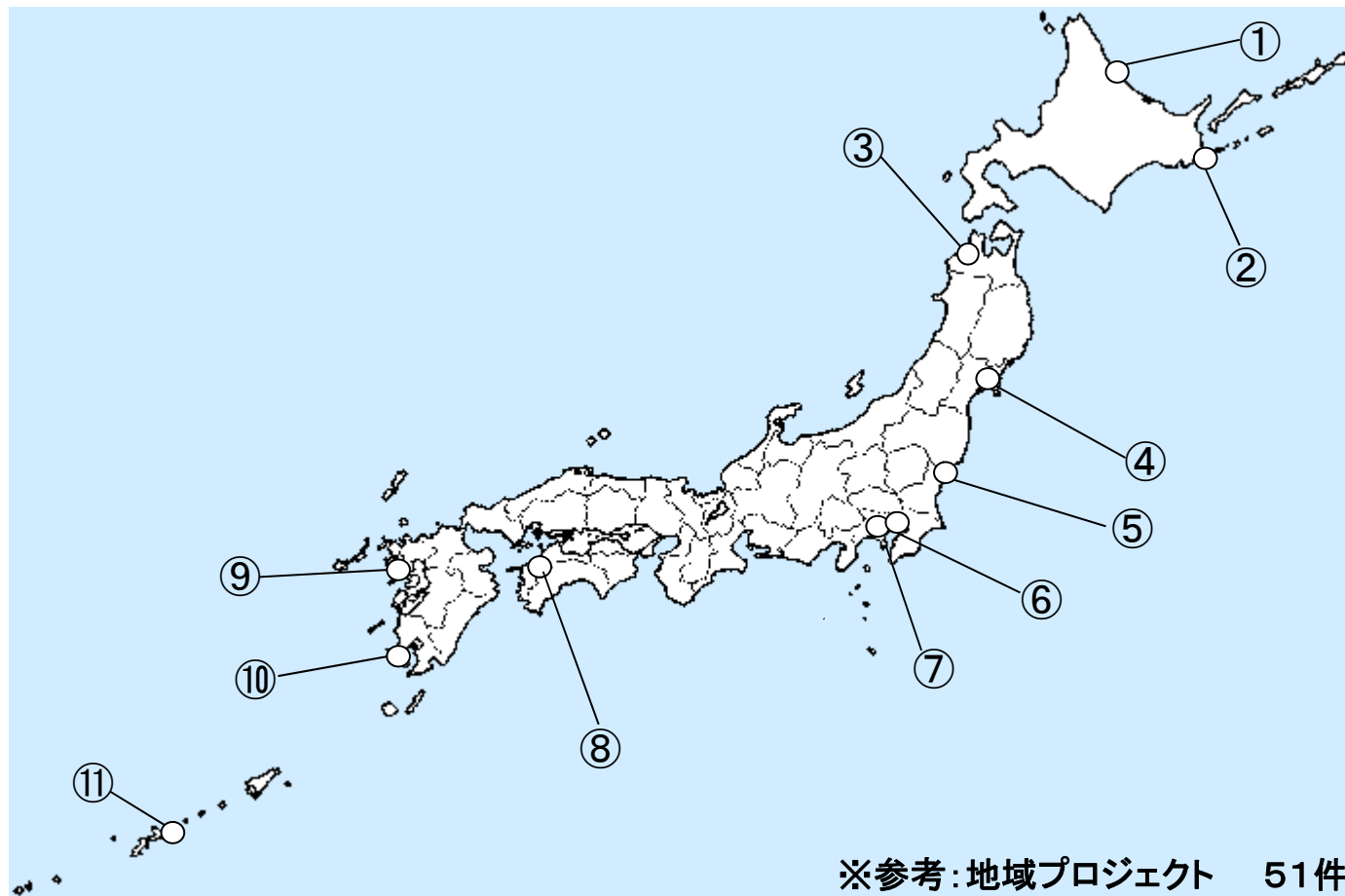
- 1 八戸(大中まき): 船団縮小(4→2隻)<20年4月~23年3月改革型>
- 2 室蘭(沖底): 省コスト共通船型、操業協同化<20年9月~21年8月、21年9月~改革型>
- 3 大津(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<20年10月~23年9月改革型>
- 4 賀露(沖底): 省エネ船型導入<20年9月~23年8月改革型>
- 5 銚子(沖底): 小型化(74t→19t)、協業化<20年6月~23年5月改革型>
- 6 遠旋組合(大中まき): 船団縮小(5→4隻)<21年1月~24年1月改革型>
- 7 石巻(大中まき): 単船化、省エネ省コスト化<21年8月~改革型>
- 8 波崎(大中まき): 船団縮小(4→2隻)<21年8月~改革型>
- 9 小樽(沖底): 生産体制の合理化<22年2月~改革型>
- 10 香住(べにずわい): 常設活魚倉導入<20年9月~23年8月改革型>
- 11 境港(べにずわい): 省エネ省コスト、高鮮度保持<21年9月~改革型>
- 12 紀伊水道(中まき): 船団縮小(9→7隻)<21年7月~23年6月マイルド>
- 13 静岡(大中まき): 船団縮小(6→5隻)<23年1月~改革型>
- 14 波崎(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<22年4月~改革型>
- 15 塩釜(遠洋底びき): 新規漁場(インドネシア)開発<21年8月~22年2月マイルド>
- 16 山川(海まき): 海外漁場(パプアニューギニア)の確保<21年11月~23年11月マイルド>
- 17 柴山(沖底): 耐候性漁船、高品質水揚げ<21年9月~、22年9月~改革型>

- 18 浜坂(沖底): 小型化(90t→65t)、省人化<21年9月~改革型>
- 19 小名浜(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8→7隻)<21年10月~23年11月マイルド>
- 20 釧路(沖底): 船内1次加工等による高付加価値化 <22年9月~改革型>
- 21 気仙沼(近海まぐろ延縄): 省エネ省コスト、高鮮度保持<22年8月~改革型>
- 22 石巻(沖底・小底): 低コスト操業と高付加価値化<22年6月~改革型>
- 23 遠洋かつお一本釣り(焼津): 省エネ省コスト、高付加価値化<22年9月~マイルド>
- 24 網代港(沖底): 省エネ、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 25 遠旋組合(大中まき): 2船団グループ操業化<23年4月~改革型>
- 26 奈留(中まき): 5船団でトータルコストの削減<22年6月~マイルド>、省エネ省コスト、高鮮度保持<23年4月~改革型>
- 27 近海かつお・まぐろ(近海かつお一本釣り): 小型化(70t→19t)<23年4月~改革型>
- 28 愛媛(真珠養殖): 越物真珠生産<22年11月~改革型>
- 29 紋別(小型機船底びき): 省エネ化、衛生管理<23年3月~改革型>
- 30 八戸(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<23年5月~改革型>
- 31 北浦(中まき): 6船団共同操業・共同運搬化<23年4月~改革型・マイルド>
- 32 賀露(沖底): 省エネ、船凍出荷<23年9月~改革型>
- 33 大船渡(さんま): コスト削減、高付加価値<23年10月~改革型>
- 34 遠洋まぐろ延縄(気仙沼): 船上ロイン加工、省エネ<24年4月~既存船活用品型>
- 35 遠洋かつお一本釣り: 一本釣りときま網漁業によるハイブリッド化<24年4月~新船導入型>
- 36 銚子(沖底): 小型化(74t→19t)、船首フリッジ導入<改革型>
- 37 遠洋まぐろ延縄(宮古): 省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上<新船導入型>
- 38 亶理(小底): 小底と敷網漁業との兼業化<新船導入型>
- 39 小名浜(大中まき): 船団縮小(4→3隻)、コンテナバック導入<新船導入型>
- 40 八戸(小底): コスト削減、鮮度向上<改革型>
- 41 宮古・釜石(沖底): 省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等<新船導入型>
- 42 波崎(大中まき): 船団縮小(4→3隻)<新船導入型>
- 43 遠洋まぐろ延縄(焼津): 省エネ、流通改善<24年4月~マイルド>
- 44 下関(沖底): 小型化(75→69t)、付加価値向上<24年4月~改革型>
- 45 気仙沼(さんま): 兼業型・改革型漁船、安全性確保、高付加価値化<新船導入型>
- 46 深浦(沖底): 省エネ・小型化(50→19t)、衛生管理・付加価値向上等<改革型>
- 47 三重外湾(中まき): 船団縮小(6→4隻)、ウォーターバックによる活魚輸送等<改革型>
- 48 舞鶴(定置): 操業体制の再編、省人・省力化、1次加工・活魚率向上等<改革型>
- 49 網代港(定置): 省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等<24年4月~改革型>
- 50 遠洋まぐろ延縄(尾鷲): 小型化・省エネ、アルコールスラリーの導入<改革型>
- 51 遠洋まぐろ延縄(高知): 既存船の省燃費型への改修、船上加工等<24年4月~マイルド>
- 52 浜田(沖底): リップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進<マイルド>
- 53 萩(小型いか釣り): 共同探索・運搬等による操業の効率化、高品質化<マイルド>

※ ● は漁業復興計画への移行 * 赤数字: 操業実施、青数字: 今後操業予定

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 (H24年3月15日現在)

【策定中の改革計画(11件)】



- ① 紋別(沖底)
- ② 根室(定置)
- ③ 十三(底建網)
- ④ 石巻(沖底)
- ⑤ 大津(大中まき)
- ⑥ 遠洋まぐろ延縄
- ⑦ 全国いか(いか釣り)
- ⑧ 八幡浜(沖底等)
- ⑨ 長崎以西底びき
- ⑩ 枕崎(遠洋かつお)
- ⑪ 近海かつお・まぐろ